昭和村社会福祉協議会昭和の里

第３回地域密着型通所介護事業運営推進会議　報告書

日　時	令和５年１２月１４日（木）　１４：００～１４：３５
場　所	昭和村総合福祉センター　生活指導室
出席者	運営推進会議構成員６名、事業者・事業所関係者４名
内　容	１．開会 ２．挨拶　昭和村社会福祉協議会　新木会長 ３．協議題 ・令和５年度上期活動状況の報告及び評価 (1)令和5年度上期活動状況の報告(資料の通り) (2)評価及び意見 ・珍しいものを作ってくれてありがたい。楽しみにしている。 ・村内の行ったことのないところにも連れて行ってもらって良かった。 ・母もドライブ等でかけられて嬉しいと話していた。職員の方の対応も親切で、満足している。 ・外に出掛けたり、目の前で珍しいものを作って食べる等の機会は少ないので、今後も是非継続してもらいたい。 ・昭和村では、地域密着型の利用者が増加している傾向にある。 ・コロナも5類に移行されたが、インフルエンザやコロナへの対応はどのようにしているか。 →マスクの着用や迎え時の検温など基本的にはコロナが5類に移行前と同様の対応をしている。ご家族がコロナなど発症した際は本人の様子や接触状況等を確認し、ご家族の負担等も考慮しながらその都度相談をしている。 ・保育園児との交流や福祉教育など社会福祉協議会ならではの事業と連携できている。 ・コロナの影響もあって難しいかと思うが、慰問の受け入れはしているのか。 →慰問などの地域との交流の機会は大切なので、内容等を確認しながら、また、感染状況にも注意しながら積極的に受け入れていきたい。11月には利根実業高校生の慰問の受け入れを行っている。 ・前回の会議で要望の出た売店に行っての買い物についてどうなったか？ →職員で検討をし、利用者の中には家族からの意向等で買い物をしたくてもできない方がいるので、そうした方のことを考慮しこれまでと同様に利用者の希望を聞いて職員が買ってくる方法を継続していきたい。

	５．その他 ・運営推進会議は１年に２回の開催となり、次回は約６か月後に開催予定。
備　考	特になし